



# 平成30年7月豪雨災害3周年式典

7月6日、美袋地区に整備された排水機場で、平成30年7月豪雨災害3周年式典が開催されました。

式には、被災者や地域関係者など約120人が出席。犠牲となった12人に黙とうをささげたほか、復興状況をまとめた動画を上映し、3年間の歩みを振り返りました。また、地域を代表して坪井司さんが、「排水機場は、地元の長年の願いだった。高梁川の築堤や伐木、しゅんせつなどが進めば、より安全安心な美袋地区になる」とあいさつしました。

問い合わせ 復興推進室 (☎ 8570)



参加した昭和小学校6年生が、「これからも災害のことを忘れずに生活していきたい」とメッセージを伝えた



## 秦地区 美袋地区 排水機場を整備

西日本豪雨からの復興事業として、高梁川沿いに整備を進めていた排水機場2カ所が完成し、6月29日に秦地区(秦1947番地)で、7月6日に美袋地区(美袋2184番地1)でお披露目されました。

いずれの排水機場も、内水排除用のポンプ2台を装備。秦地区のポンプは1秒間に1.4立方メートル、美袋地区のポンプは3.0立方メートルの排水能力があり、西日本豪雨と同規模の雨量にも対応可能です。

問い合わせ 土木課工務係 (☎ 8292)

下原地区での西日本豪雨の記憶を伝える石碑が完成。同地区の復興委員会により下原公会堂に設置され、7月4日に除幕されました。

石碑は幅が180cm、高さが60cmほどで、実際に豪雨で浸水した庭石を使用。下原地区の被害や避難について刻まれています。

問い合わせ 復興推進室 (☎ 8570)



## 下原の災害記録を刻む 石碑が完成

# — 新型コロナウイルス関連情報 —

### 1 7月15日から市民会館で1日最大2000人大規模接種



### 2 16歳以上の市民など一般向け接種も実施中



### 3 協同組合ウイングバレイ職域接種開始



### 4 12～15歳の接種体制を協議 感染症専門家会議



- 1 7月15日から、ワクチン接種強化期間として市民会館を大規模接種会場に設定。1回目接種は8月8日までの予定で、木・土・日曜日に接種を行っています。また、個人予約に加え、企業の特別枠を設け、希望する市内約80の事業所の集団接種も実施しています。
- 2 7月1日からは、16歳から64歳までの市民を対象とした接種が始まりました。
- 3 6月21日には、全国で職域接種が始まりました。市内では、自動車部品メーカーで構成する協同組合ウイングバレイが産業医による接種を開始。組合員企業12社うち、接種希望者約2800人へ接種予定です。
- 4 7月7日、市役所で感染症専門家会議を開催。市内外の医療関係者が出席し、12から15歳までの市民を対象とした接種の体制について協議しました。会議での意見をを受けて、8日にはそうじや総合教育会議を開催。本人と保護者の希望を尊重しながら、医療機関での個別接種と市の集団接種会場での接種を8月から順次進めることを決定しました。

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎ 8278)